## ・使用可能バイオ BB 弾

会場となるバトルランド指定のバイオ BB 弾を必ずご使用下さい。指定バイオ BB 弾はその時々によって違う場合がありますので、必ず参加前にご確認下さい。

詳しくは(http://bl.ord.cc/)をご確認下さい。当日に現地購入いただければ間違いございません。 イベントフィールド借用の都合上、指定バイオBB弾の使用は最重要事項です。

## ・使用銃(トイガン)のレギュレーション

トイガン使用ルールに関してはフィールドレギュレーションに遵守します。(http://bl.ord.cc/)

0.20gバイオ BB 弾使用時初速 95m/s(約 0.9J)未満

0.25g バイオ BB 弾使用時初速 85m/s (約 0.9J) 未満

0.12g バイオ BB 弾使用時初速 123m/s(約 0.9J)未満 (短機関銃・SMG 指定弾)

発射サイクル 20発/秒未満 (機関銃ルール適応時)

イベント当日の現地測定器および測定員が計測した数値で判断させてもらいます。 「前回は大丈夫だった」「自分の測定器の値と違う」「箱出しノーマルだ」は受け付けません。 弾速チェックで基準オーバーした銃は、会場を退出するまで預からせてもらいます。自身で調整 出来る方でも再検査は出来ません。

発射サイクルはLMG・SMG(軽機関銃・短機関銃)に関するルールです。

HMG(ヘビーマシンガン・三脚以上の銃座固定式の機関銃)に関しては、重火器の効果を出すために発射サイクルルール適応外とします。(ミニガン・M2等の固定式機関銃)

## ・トイガンの射撃に関するルール

トイガンの射撃モードに関しては、原則セミオートマチックとなります。これにはアサルトライフル、バトルライフル、他オートマチックライフルを含みます。3 バーストも禁止です。マシンガン(LMG・HMG・SMG等)のみ条件付きでフルオートマチック射撃が可能とします。

LMG : 二脚装備の軽機関銃・分隊支援火器である事。

20発/秒未満のフルオート射撃が可能です。

※MINIMI、MAG、M60、RPK、RPD、PKM等

※二脚付きでも G3SG1、64 式等「自動小銃」は LMG に含みません

HMG: 三脚以上の銃座に載せた機関銃を重機関銃とします。

固定火器の効果を出す為に発射サイクル制限無しでのフルオート射撃が可能です。 ※ミニガン、M2、DShkM等、銃座に乗っていれば MINIMI 等も可

SMG: 実銃においてピストル弾を使用する短機関銃(SMG)およびマシンピストルです。

0.12g バイオ弾のみ使用可能とします。フルオートマチック射撃が可能です。

※UZI、MP5、スターリング、ステン、PPSh-41等

※MP7、P90 は短機関銃扱いとします。MP44 はアサルトライフルとします。

代用機関銃: 運営委員会の許可があった場合のみフルオート可能とします。

戦力調整のための措置になりますので、自己判断は禁止とします。

#### ・ドラムマガジン装着

自動小銃(アサルトライフル)で、ドラムマガジンを装着している場合に限り 「代用機関銃」としてフルオート射撃可とします。

ドラムマガジンは AK では丸型のみ(代用品可)、M4 では C-MAG タイプのみとします。

- ※分隊支援火器用ロングマガジン等装着は特例に含みません
- ※事実上ドラムマガジンが「フルオートマーカー」になります
- ※RPK、L-86、ガリル ARM 等、元々分隊支援火器扱いのものは、ボックスマガジン(スタンダードマガジン)も使用可能です

## •特例機種

M27IAR(連合軍)を分隊支援火器としてボックスマガジン(スタンダードマガジン)でもフルオート射撃可とします。(他同様の機種がある場合は要問合せ)

## ガスブローバック式トイガン:

ガスブローバック式の短機関銃およびマシンピストルは、使用するバイオ BB 弾の 重量制限は無しでフルオート射撃可とします。(電動 SMG の場合は 0.12g のみ)

ガスブローバック式自動小銃は、電動と同様にセミオート射撃のみです。

## ・マガジンに関する制限

マガジンに関しては、コイルスプリングのノーマルタイプマガジン(70~100連等)のみ使用可とします。携行本数に制限はありません。

多弾数タイプしか販売されていない機種に関してのみ、本体に装着している1本のみ使用可能 とします。予備としての多弾数タイプマガジンの使用は禁止とします。

- ※多弾数マガジンしか無い機種や、自作機種のための救済措置です
- ※PPSh-41 のドラムマガジン等

LMG・HMG等のマシンガンの場合は使用するマガジン形式に制限はありませんが、実銃に存在するタイプもしくはそれに近づけるべく作られた代用品のみとします。

※AK タイプでは丸型ドラム、M4では C-MAG タイプ等

## ・命令系統に関するルール

MMM は予め設定されたシナリオに沿って状況を進めていきます。

大会本部→勢力本部(民族戦線・連合軍)→各勢力小隊長(スタッフ・一般参加者有志) →一般参加者、という順番のトップダウン式命令系統になります。

命令・任務遂行中のシナリオに大きく関わりそうなアドリブはスタッフに許可を取って下さい。 シナリオに大きく関わらない、場を盛り上げる事ができるアドリブは推奨となります。 (その場で完結するネタ等でお願いします、自部隊や他部隊を足止めしない事)

#### ・ヒットに関するルール

サバイバルゲーム同様のヒット制で進行させてもらいます。 被弾時は「ヒット!」等のヒットコールではなく、悲鳴や被弾リアクションを取って下さい。

ヒット後は基本的に「負傷兵」になって下さい。小隊長の判断で復活、または次のシチュエーション に移行します。戦闘不能状態で敵性勢力に制圧されてしまった場合など、スタッフの判断で 「シーンカット」し、状況を仕切り直す場合がございます。

#### 花火に関するルール

参加者個人での花火爆竹、ロケット花火、煙花火(はちとり等)の使用は原則禁止です。

一部の音花火・煙花火をスタッフが演出の一環として使用するものとします。

8連発、12連発、巻き火薬式等の「火薬ピストル」、またはモデルガンの使用は許可します。

## **アイウェア**(グラス・ゴーグル)

サバイバルゲームで使用しても問題ない強度のものをご使用下さい。

実際の兵士が使用しているもので、サバイバルゲーム用の強度および保護範囲が確認されているものは使用可能です。

民兵等、裸眼の兵士を再現する場合等は、テンプル(つる部分)まですべてクリアー素材のシューティンググラスを基本アイウェアーとします。

コスプレ要素を含むもの以外の、スモークやイエローのものは禁止とします。

規定のアイウェアーが用意出来ない場合は現地販売品をご購入下さい。 (東京マルイ製シューティンググラスをフィールド管理棟にて販売)

## ・ナイフ・刀剣類に関するルール

銃刀法に触れる触れない問わず、シチュエーション内への刃物の持ち込みは すべて禁止とします。携行するのはモデル品のみとして下さい。

## ・キャンプ・セーフティエリアに関するルール

キャンプスペースに車両を乗り入れる際は、必ず現場スタッフに従って下さい。

「仲間内で近くに駐車したい」などの場合は、同時に入場するなどしていただかないと駐車スペースの関係で希望通りの位置に配置出来ない場合があります。

「宿泊に使用する車両」「イベント中使用しない車両」「リビング用タープテント」「宿泊用テント」で キャンプスペースの配置が変わって来ます。当日スタッフの指示に従って下さい。 ※キャンプスペースに制限がありますので、ご協力下さい

車両以外のセーフティ機材敷設は、「3人につき3x3m」を基本とします。

参加者間で不公平が出ないように調整させてもらいますので、必ずスタッフの指示に従って下さい。

宿泊テント等と関係のない、展示用のミリタリーテント等を設置希望の方は事前にご連絡下さい。 キャンプスペースではなく、シチュエーションスペース(フィールド側)に設営いただけます。

土曜日キャンプは**夜10時で消灯**とします。大声や音が出る行為は禁止です。まだおきている方は、 灯りと声を小さくするなどして就寝している方に配慮して下さい。

セーフティエリアやフィールド内でバギーやバイク、トラックなどの車両を走らせる場合はスタッフの許可の元走行して下さい。また、スピードは15km/h以下を目安にして下さい。 日没後の走行はテントロープなどを引っ掛ける危険がありますので、全ての車両で禁止します。

日没後に出庫する予定がある方は事前にスタッフに申し出て下さい。出庫しやすい場所に駐車出来るよう案内させてもらいます。

# 連合軍向け参加要項

- ●国連軍・NATO 軍・西欧系諸国の正規軍を"連合軍"とします。
- ●想定する軍隊の装具・銃器を模した物を基本装備とします。 レプリカ装具は OK ですが、あまりに掛け離れた代用装具や、実物が存在しない 又は設定された想定地域で存在しえない銃器を模したトイガンの使用は禁止です。
- ●連合軍兵士はヘルメットおよびボディアーマーが必須装備になります。 この2点が「連合軍マーカー」です。
- ○当日現地でシチュエーションに沿わないと判断された場合は状況に参加出来ない場合があります。その際はレンタル装備(有料)にて民族戦線側で参加可能です。

## 部隊ごとのドレスコード

装備・装具の是非は運営委員会スタッフの判断を優先します。 「この装備での参加は大丈夫かな」という方は、事前にお問い合わせ下さい。

階級章を戦闘服などに付ける場合は"軍曹"以下にして下さい。"曹長"以上の階級章を付ける場合は事前にご申告下さい。高位階級を付ける代わりに、小隊長(命令の中継等)をお願いする場合がございます。

設定年代が広くなってきましたので、申込時に「20xx年ごろの○○部隊」と申告していただけると、 編成時に分隊単位の装備の整合性が取りやすくなります。

### ●部隊編成

大きく「一般部隊」と「特殊部隊」に別れ、それぞれで指揮官および指揮系統が違います。 (一般と特殊の対立や、部隊ごとの直接連絡が取れない状況なども再現するためです) 無線は特定小電力無線局(貸出機有)を利用し、勢力・部隊ごとにチャンネルを割り当てます。参加者の自由にチャンネルを開く事は出来ません。

### •正規軍一般兵

各国正規軍一般兵装備を基本とします。ヘルメット、ボディアーマーが必須装備となります。キャップやベレーを被る場合でも、必ずヘルメットを携行して下さい。

米軍以外で少数の軍隊などでも、3人ほど居れば1ユニットとして扱う事も可能です。 通常は、仏軍+独軍タスクフォースなどを編成する事が多いです。

#### •特殊部隊

各国特殊部隊装備になります。一般兵装備から逸脱したものが多いので、必ず申し込み時に詳しい装備内容を申告して下さい。

スタイルアップとしてキャップなどを装着する事も可能ですが、連合軍所属である以上へルメットと ボディアーマーは必至です。(携行のみでも可)

#### •自衛隊

復興支援活動のために現地入りした自衛隊員という設定です。ヘルメットとボディアーマーが必須です。部隊編成としては一般兵枠での参加になります。

武装は許可していますが、対人射撃は基本的に許可されない事が多いです。シチュエーション上も、過去許可された事は稀です。円匙(スコップ)があると便利です。

●以下のグループは必ず装備に関してお問い合わせ下さい。 特殊な立ち位置の場合が多いので、一般参加者向けのシチュエーションに参加出来ない 場合があります。過去に MMM に参加経験のある方向けです。

## ·民間軍事会社(欧米 PMC)

PMC はスタッフを中心とした雑用係となっております。戦闘状況に参加出来ない場合が多いです。 ヘルメット・ボディアーマーが必須です。連合軍総指揮官直轄の「お使い部隊」ですので、比較的 扱いが「荒い」です。

## •ポリス(アフガニスタン警察およびイラク警察)

バトラン国(舞台となる仮想国家)への文民警察官として、ANP(アフガン警察)およびIPS(イラク警察)装備での参加が可能です。こちらもスタッフを中心とした雑用係になります。 警ら装備(ヘルメット・アーマー無し)での参加が可能です。

#### •親連合軍の現地人

ポリスの下請け民兵や、連合軍部隊と同行する通訳などです。装備としては現地人衣装+軽装備 といった感じです。

状況によって組み込まれる部隊が変わります。シチュエーションによっては民族戦線側に組み込まれる場合があります。

## 民族戦線向け参加要項

- ●連合軍以外の民兵グループを便宜上"民族戦線"とします。 ※あくまで正規兵ではないだけで、「敵性勢力」と限定された訳ではありません
- ●想定地域(中東周辺)で入手性の高いものを基本装備とします。レプリカ装具は OK ですが、 あまりに掛け離れた代用装具や、実物が存在しない又は想定地域で存在しえない銃器を 模したトイガンの使用は出来ません。
- ○当日現地で状況に沿わないと判断された場合は、シチュエーションに参加出来ない場合があります。その際はレンタル装備(有料)にて参加可能です。

大きく分けて「**現地人**(非武装もしくは護身装備のみ)」「**民兵**(武装した現地人)」「**傭兵**(戦闘装備の傭われ兵)」の3グループに分かれます。それぞれのグループにまたがるニュアンスの装備の場合は事前にご申告下さい。編成時に考慮させてもらいます。

## ドレスコード

## ○現地人(穏健派・ネタ中心)

民族衣装を中心に、迷彩衣料・装具等も最低限に留めて下さい。武装は可ですが、あくまで民間人ですのでライフルや弾納などはショルダー掛けにしたり、すぐに手放せる状態で携行するのが望ましいです。チェストリグなどは、ジャケットやシャツですぐに隠せるように、外被の内側に装着して下さい。偽装が完璧なら、フル装備でも大丈夫です。

装具・銃器等、想定地域で入手可能であろう装備を選んで下さい。現地人風の小道具(旅・生活 用品)などを携行するのも望ましいです。

#### 〇**民**兵(過激派·戦闘中心)

民族衣装を中心に、各国旧式装備などで武装した民兵です。いわゆる「ステロタイプのアフガン 民兵スタイル」で大丈夫です。現地人装備同様に、想定地域で入手可能であろう装備をお願いします。一応は「武装主義に傾倒した"現地人"」ですので、小道具などの携行も推奨します。

#### ○傭兵

戦闘装備で武装した傭兵部隊です。おおまかに「ロシア系傭兵」と「中国系傭兵」が主流です。 現用ロシア軍および中国軍の装備をアレンジして(崩して)下さい。「ヘルメット・国章・部隊章」は 禁止とします。ボディアーマーは可です。「軍を抜け出して小遣い稼ぎに来た兵士」というニュアン スです。

#### ○義勇兵

世界各国から参戦する義勇兵です。ただ、出身地域の民兵勢力装備"そのまま"は禁止とします。 当然お忍びで想定地域(バトラン国・アフガン周辺)に来ているので、元の勢力のワッペンや部隊 章などは一応隠れている状態を基本として、現地人に紛れているスタイルを再現して下さい。

※上記で細則が記載されていない事項でも、現地で指導・調整が入る場合があります

#### ○アイウェア

シューティンググラスはヒストリカルゲームで定番の「レンズから弦まで全て透明のもの」を推奨としますが、安全装備を強く否定するわけにもいかないのでゴーグルタイプでもレンズがクリアでフレームが黒もしくはミリタリーカラーのものは許可とします。

フェイスガードは原則禁止としますので、顔への被弾が気になる場合はスカーフなどで防護して下さい。シリコンゴムの「顔型マスク」はご申告下さい。(骸骨型などは禁止です)

## ○行動に関する注意

特定の宗教や主義・主張に傾倒しすぎた行為、シチュエーションを推奨しません。 ただ禁止もしませんので、倫理的に問題のある行為等に配慮した上で楽しんで下さい。

## 使用する武器(トイガン)に関する規定

AK-47、AKM、AK-74 等のカラシニコフライフルがマストアイテムになります。 他、G3、FAL、M16A1 など各国旧式ライフルも推奨されます。

実銃で存在しえない機種(機構的に破綻しているもの)、想定地域にて入手しえない機種等は使用禁止とさせてもらいます。

レイルハンドガードや光学機器等は、想定地域での入手性等も考慮して下さい。あまりに高価なセットアップの場合は不自然なものになります。

ローカルメイドウェポン(密造銃風カスタム)で特殊な外観のものに関しては事前に申告して下さい。

射撃によるヒットで大きくシナリオが変わるシチュエーションはありませんが、民族戦線では慢性的な火力の不足が起きています。火力不足だからと全員フルオート許可とは出来ないので、火力向上のため、RPK や PKM などの機関銃の持ち込みを歓迎しています。

その他のお問い合わせは遠慮なくお問い合わせ下さい。

手持ちの装備をどうアレンジすれば参加出来るか、などのご質問も歓迎です。

総合案内・民兵装備 : 明日香縫製 (<u>kalash@militia.jp</u>) 民族戦線指揮官・会場管理 : Carry (<u>carry@militia.jp</u>) 連合軍指揮官・連合軍装備 : Heavy (heavy@militia.jp)